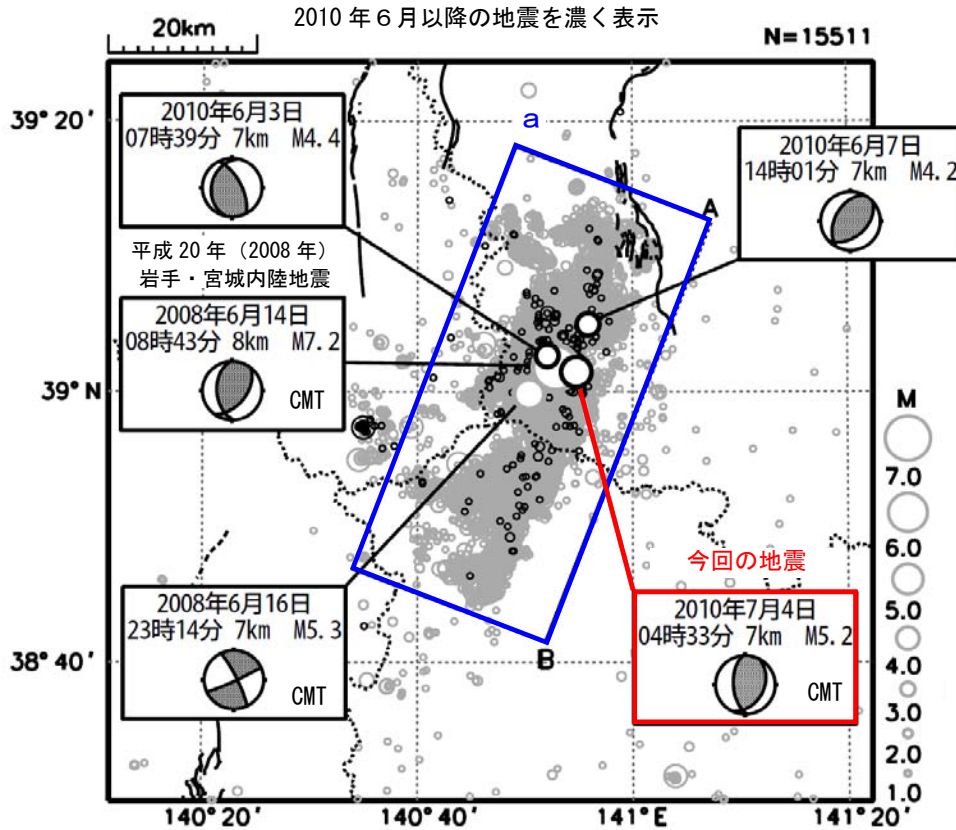


7月4日 岩手県内陸南部の地震

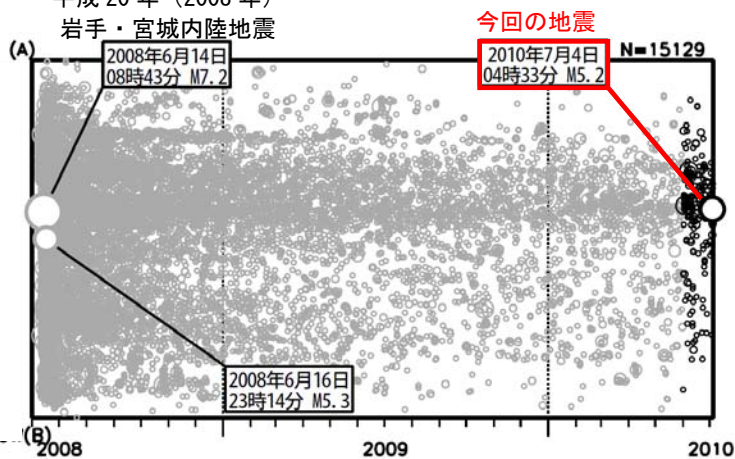
2010年7月4日04時33分に岩手県内陸南部の深さ7kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で発生した。M5.0を超えた余震は、2008年6月16日に発生した地震（M5.3、最大震度4）以来である。地震発生直後から、地震活動はやや活発となっている。

震央分布図（2008年6月1日～2010年7月5日、深さ0～20km、M \geq 1.0）

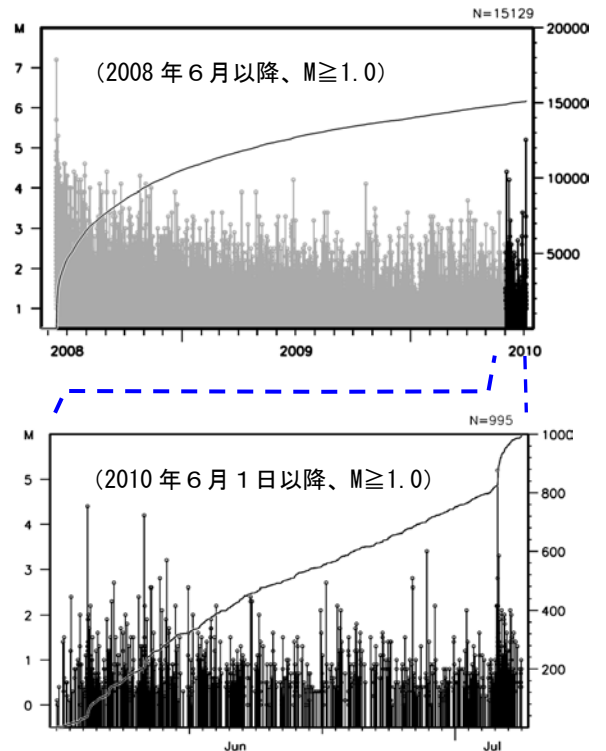


領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)

平成20年(2008年)
岩手・宮城内陸地震

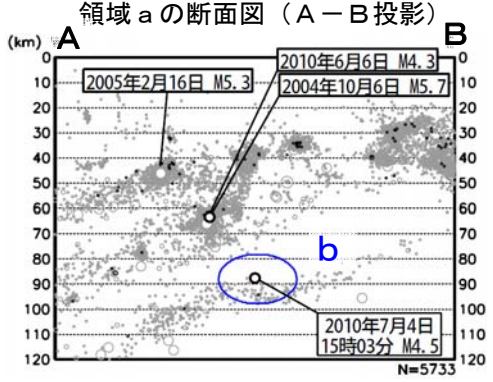
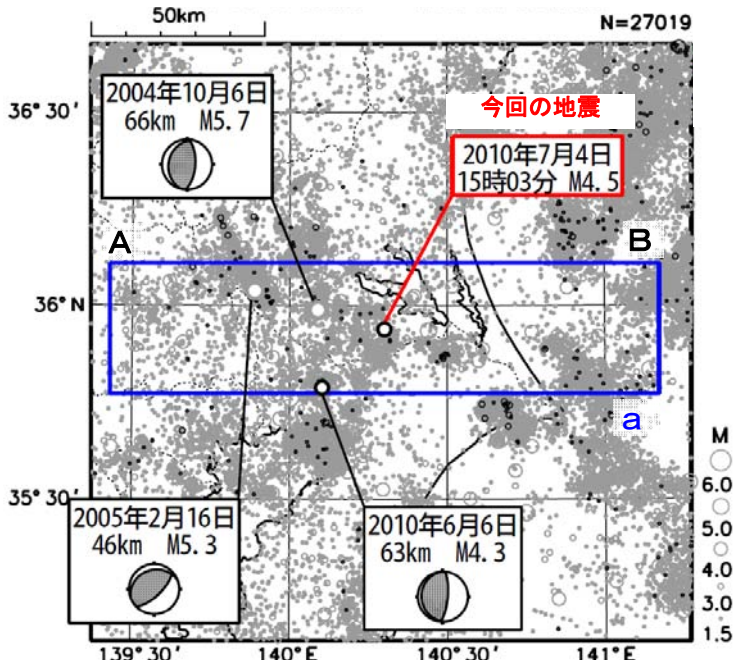


領域 a の地震活動経過図・回数積算図

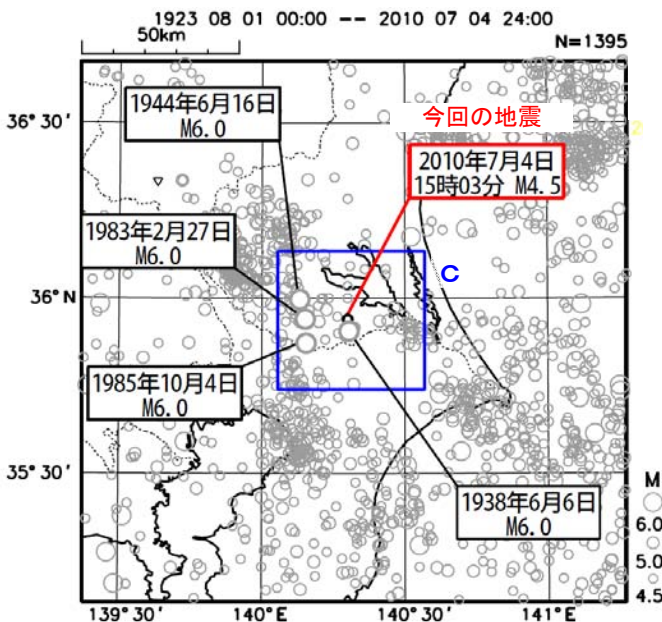


7月4日 茨城県南部の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2010年7月4日、
深さ0~120km、 $M \geq 1.5$)
(2010年6月以降の地震を濃く表示)



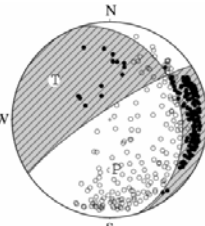
震央分布図 (1923年8月1日~2010年7月4日、
深さ0~120km、 $M \geq 4.5$)



2010年7月4日 15時03分に茨城県南部の深さ88kmで $M 4.5$ の地震(最大震度3)が発生した。

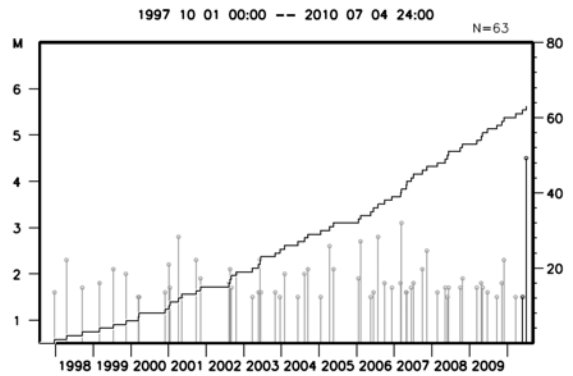
この地震は沈み込む太平洋プレートの内部(二重地震面の下面)で発生した地震である。発震機構は西北西-東南東方向に張力軸を持つ型であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震活動の震源付近(領域b)では $M 4.0$ を超える地震は発生していなかった。



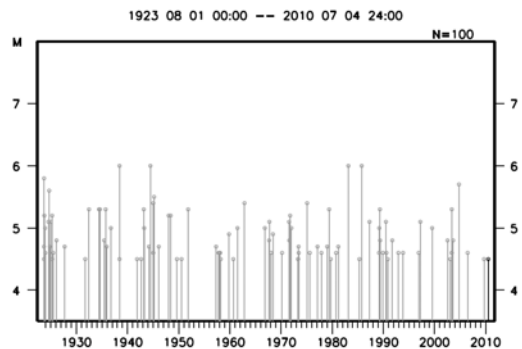
今回の地震の発震機構

領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図



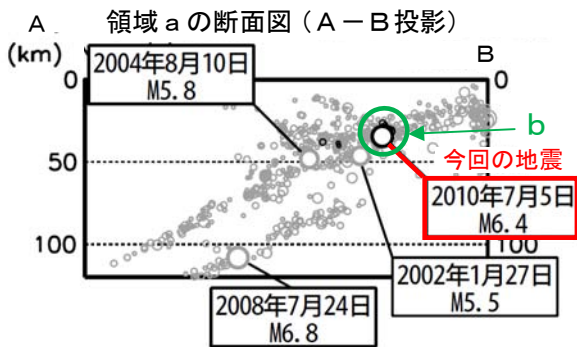
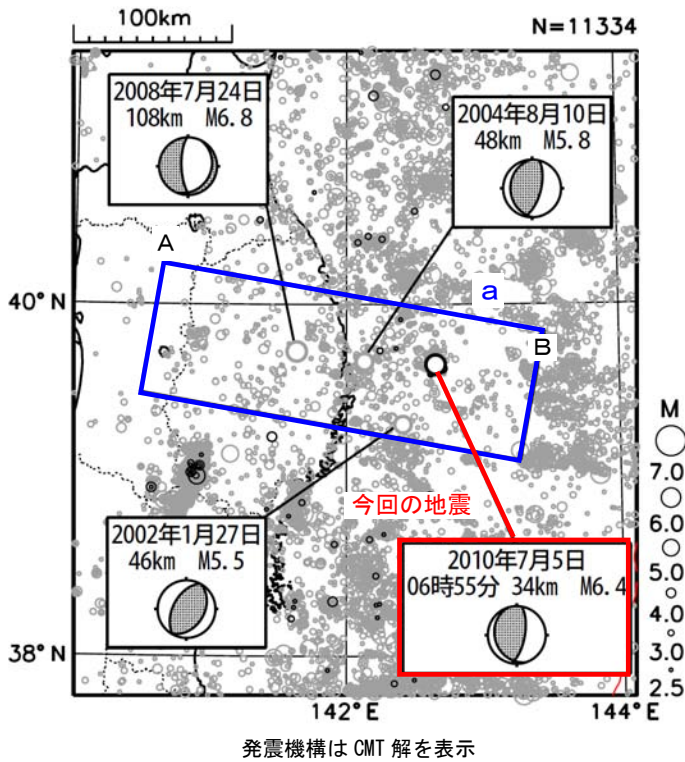
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では $M 6.0$ を超える地震が4回発生している。今回の地震の震央付近では、1938年6月6日に $M 6.0$ の地震が発生している。

領域 c 内の地震活動経過図

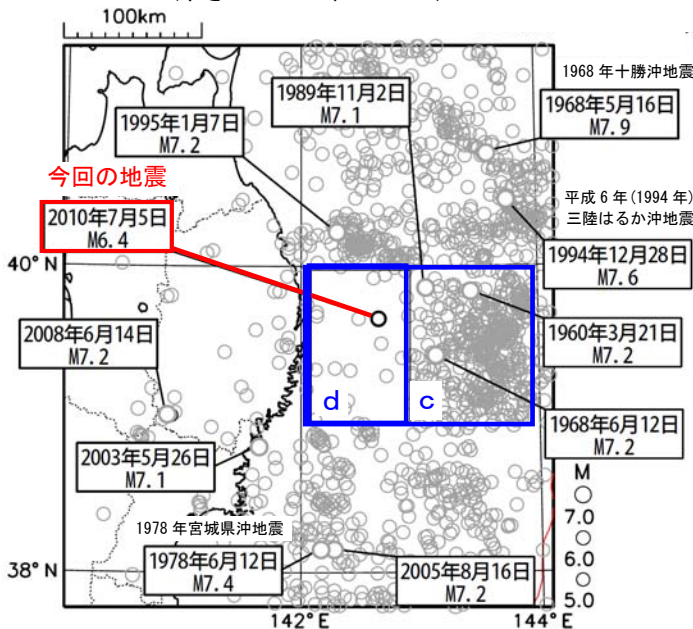


7月5日 岩手県沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2010年7月5日、
深さ0~120km、 $M \geq 2.5$)
2010年6月以降の地震を濃く表示



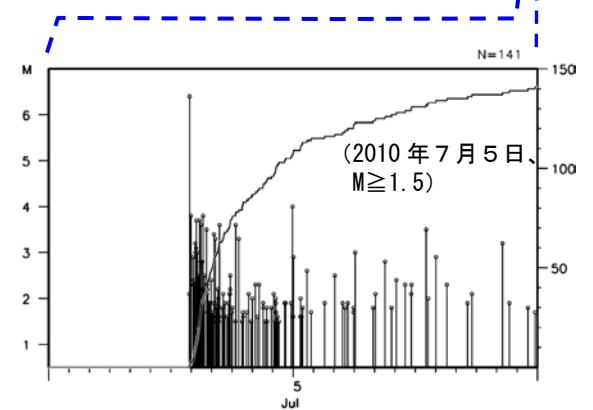
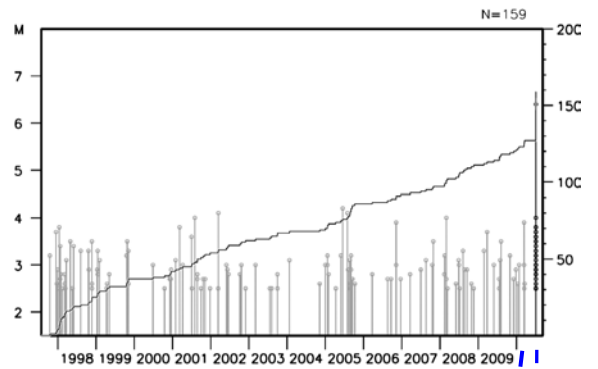
震央分布図 (1923年8月1日~2010年7月5日
深さ0~90km、 $M \geq 5.0$)



2010年7月5日06時55分に岩手県沖の深さ34kmでM6.4の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は東-西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震活動はやや活発であるが、震度1以上を観測した地震は発生していない (7月7日現在)。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b内) では、M5.0を超える地震は今回が初めてである。

領域b内の地震活動経過図・回数積算図



1923年8月以降の地震活動をみると、岩手県沖 (領域c) は、M7.0を越える地震が時々発生するなど、地震活動が活発な領域である。今回の地震の周辺 (領域d) では、M5.0を超える地震が時々発生する程度で、M6.0を超える地震は発生していなかった。

